

但馬の経済指標

平成30年10月～12月

兵庫県但馬県民局

【但馬の経済概況】

<ポイント>

①但馬信用金庫の但馬管内景気動向調査によると、業況判断DIは、前期より10.4ポイント改善し、△3.8となった。

②有効求人倍率は、12月期1.78倍。前年同月と比べて0.19ポイント上昇した。

	項 目	今期(10月～12月)	対前期(増減)	対前年同期(増減)	
1	業況判断DI (全業種計)	但馬信用金庫 △ 3.8	+ 10.4	△ 0.7	
2	雇用	12月	対前月(増減)	対前年同月(増減)	
		有効求人倍率	1.78	+ 0.12	+ 0.19
		12月	前月比(%)	前年同月比(%)	
		有効求人数(人)	4,598	△ 0.35	+ 11.33
		有効求職者数(人)	2,586	△ 7.15	△ 0.23
		雇用保険受給者実人員(人)	530	△ 10.17	+ 4.74
3	金融	12月	前月比(%)	前年同月比(%)	
		普通貸付残高(百万円)	11,381	+ 1.79	+ 1.07
		手形交換枚数(枚)	5,540	△ 8.55	△ 12.92
		手形交換金額(百万円)	5,164	+ 4.98	+ 0.58
		今期(10月～12月)	対前期(増減)	対前年同期(増減)	
		不渡手形枚数(枚)	0	△ 1	0
		不渡手形金額(千円)	0	△ 330	0
		12月	前月比(%)	前年同月比(%)	
		信用保証承諾額(百万円)	1,025	△ 21.93	△ 1.06
		信用保証債務残高(百万円)	37,373	+ 0.13	△ 1.96
4	公共工事	12月	前月比(%)	前年同月比(%)	
		公共工事請負金額(百万円)	2,679	+ 76.72	+ 210.43
5	企業倒産	今期(10月～12月)	対前期(増減)	対前年同期(増減)	
		件数	5	+ 4	+ 2
		負債総額(百万円)	124	+ 41	△ 31
6	地場産業	豊岡かばん	売上高、生産量、収益ともやや少ない。	売上高、生産量、収益ともやや少ない。	

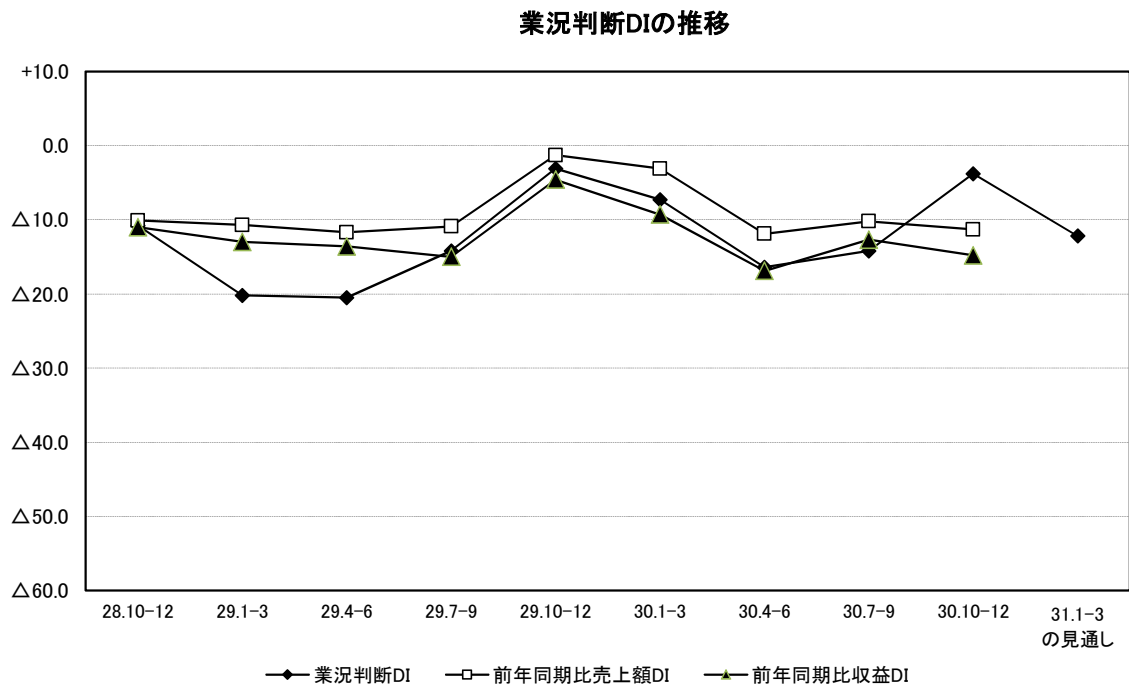
1 業況判断

但馬信用金庫

今期の業況判断DIは、前期より10.4ポイント改善し、△3.8となった。

来期の見通しについては、業況判断DIが△12.2となる見通しである。

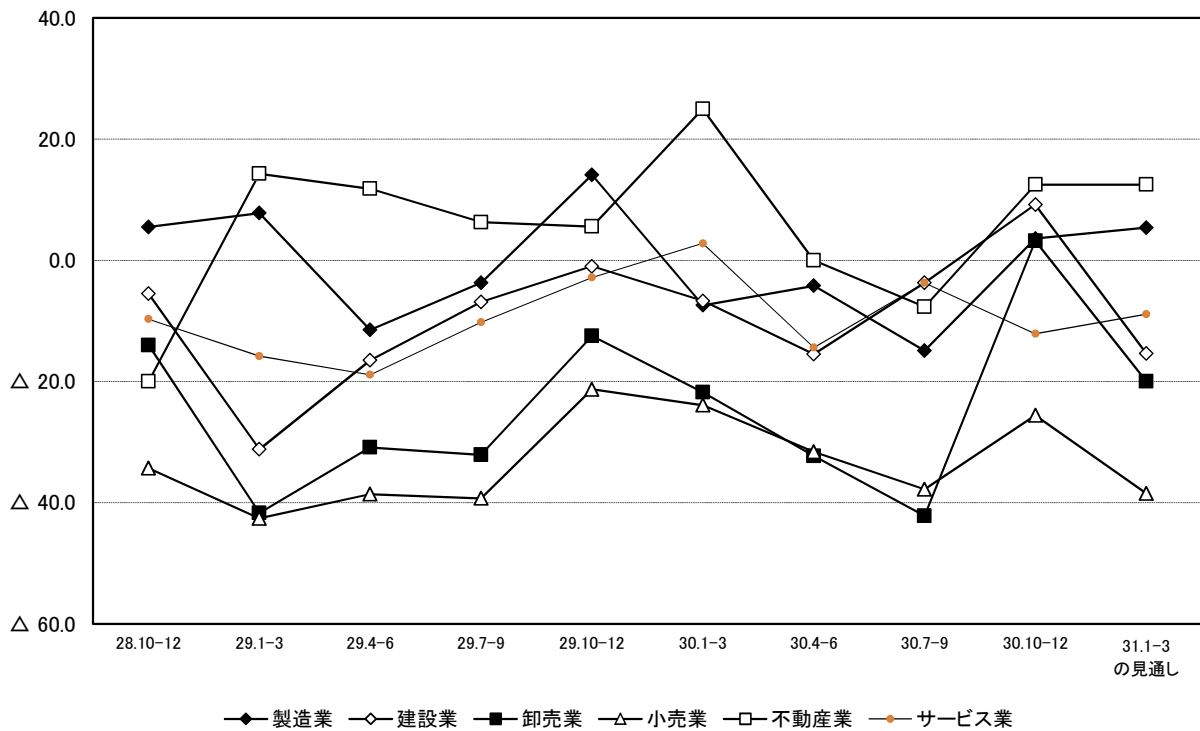
前年同期と比較した売上額DIは△11.3、同収益DIは△14.8となった。



	28.10-12	29.1-3	29.4-6	29.7-9	29.10-12	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3 の見通し
業況判断DI	△10.8	△20.2	△20.5	△14.2	△3.1	△7.3	△16.4	△14.2	△3.8	△12.2
前年同期比売上額DI	△10.1	△10.7	△11.7	△10.9	△1.3	△3.1	△11.9	△10.2	△11.3	-
前年同期比収益DI	△11.0	△13.0	△13.6	△15.0	△4.6	△9.3	△16.9	△12.7	△14.8	-

出典:但馬信用金庫『但馬管内景気動向調査』

業種別業況判断DI

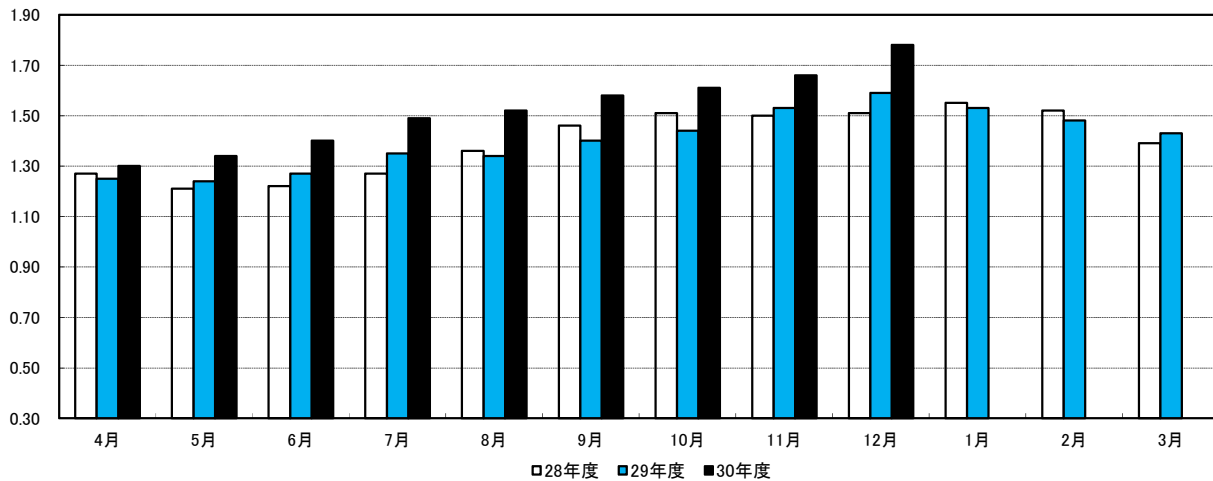


	28.10-12	29.1-3	29.4-6	29.7-9	29.10-12	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3 の見通し
製造業	5.5	7.8	△ 11.5	△ 3.7	14.1	△ 7.4	△ 4.2	△ 14.9	3.6	5.4
建設業	△ 5.5	△ 31.2	△ 16.5	△ 6.9	△ 1.0	△ 6.7	△ 15.5	△ 3.7	9.2	△ 15.4
卸売業	△ 14.0	△ 41.7	△ 30.9	△ 32.1	△ 12.5	△ 21.8	△ 32.3	△ 42.2	3.2	△ 20.0
小売業	△ 34.3	△ 42.6	△ 38.6	△ 39.3	△ 21.3	△ 23.9	△ 31.6	△ 37.8	△ 25.6	△ 38.5
不動産業	△ 20.0	14.3	11.8	6.3	5.6	25.0	0.0	△ 7.7	12.5	12.5
サービス業	△ 9.7	△ 15.8	△ 18.9	△ 10.2	△ 2.8	2.8	△ 14.4	△ 3.7	△ 12.1	△ 8.9

出典:但馬信用金庫『但馬管内景気動向調査』

2 雇用

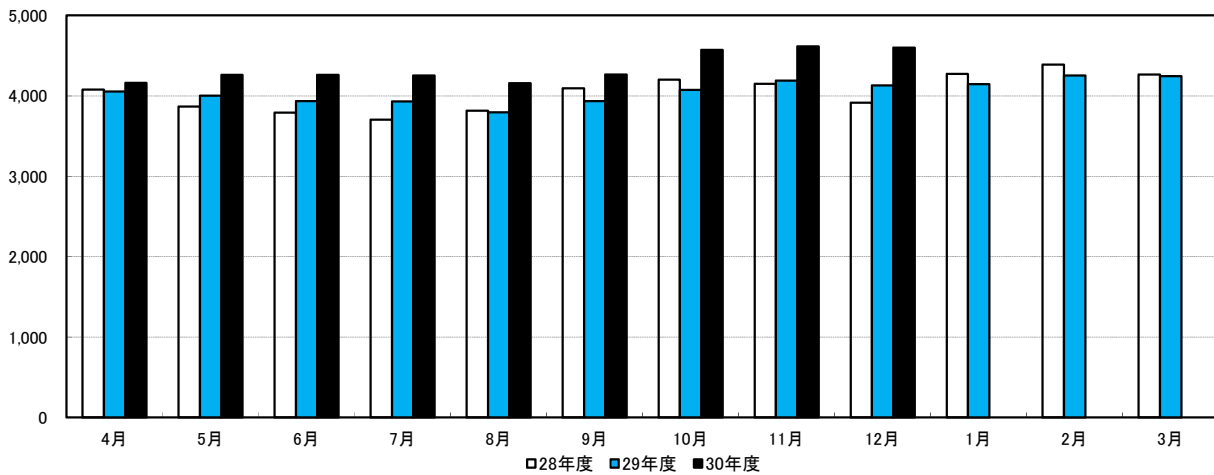
有効求人倍率



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
28年度	1.27	1.21	1.22	1.27	1.36	1.46	1.51	1.50	1.51	1.55	1.52	1.39	1.40
29年度	1.25	1.24	1.27	1.35	1.34	1.40	1.44	1.53	1.59	1.53	1.48	1.43	1.40
30年度	1.30	1.34	1.40	1.49	1.52	1.58	1.61	1.66	1.78				1.52
対前月(増減)	△0.13	+0.04	+0.06	+0.09	+0.03	+0.06	+0.03	+0.05	+0.12				—
対前年(増減)	+0.05	+0.10	+0.13	+0.14	+0.18	+0.18	+0.17	+0.13	+0.19				—

出典:厚生労働省兵庫労働局『月報ひょうご』

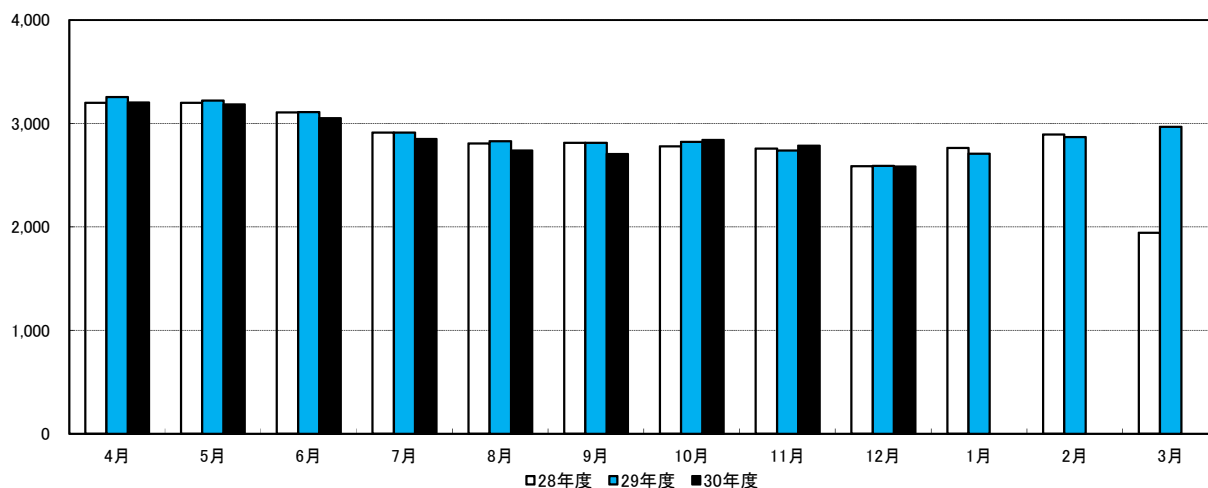
有効求人数(人)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
28年度	4,078	3,865	3,790	3,702	3,816	4,093	4,202	4,148	3,916	4,273	4,390	4,265	4,045
29年度	4,055	4,002	3,936	3,930	3,794	3,934	4,074	4,191	4,130	4,147	4,254	4,245	4,058
30年度	4,163	4,259	4,261	4,253	4,158	4,263	4,572	4,614	4,598				4,349
前月比(%)	△1.93	+2.31	+0.05	△0.19	△2.23	+2.53	+7.25	+0.92	△0.35				—
前年同月比(%)	+2.66	+6.42	+8.26	+8.22	+9.59	+8.36	+12.22	+10.09	+11.33				—

出典:厚生労働省兵庫労働局『月報ひょうご』

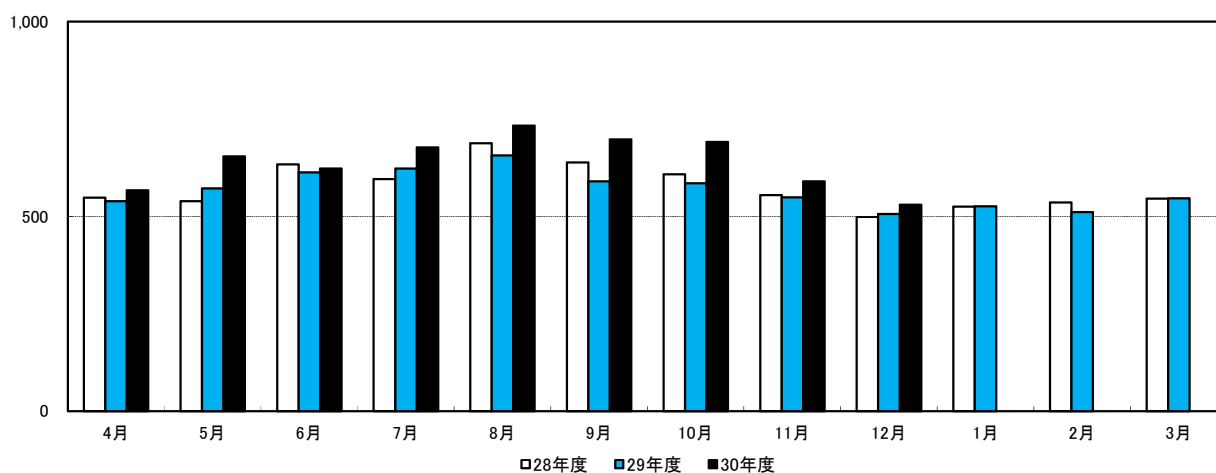
有効求職者数(人)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
28年度	3,200	3,200	3,108	2,912	2,807	2,813	2,781	2,759	2,587	2,765	2,895	1,943	2,814
29年度	3,257	3,222	3,111	2,913	2,828	2,814	2,823	2,740	2,592	2,709	2,869	2,968	2,904
30年度	3,202	3,186	3,051	2,852	2,739	2,705	2,842	2,785	2,586				2,883
前月比(%)	+7.88	△0.50	△4.24	△6.52	△3.96	△1.24	+5.06	△2.01	△7.15				—
前年同月比(%)	△1.69	△1.12	△1.93	△2.09	△3.15	△3.87	+0.67	+1.64	△0.23				—

出典:厚生労働省兵庫労働局『月報ひょうご』

雇用保険受給者実人員(人)

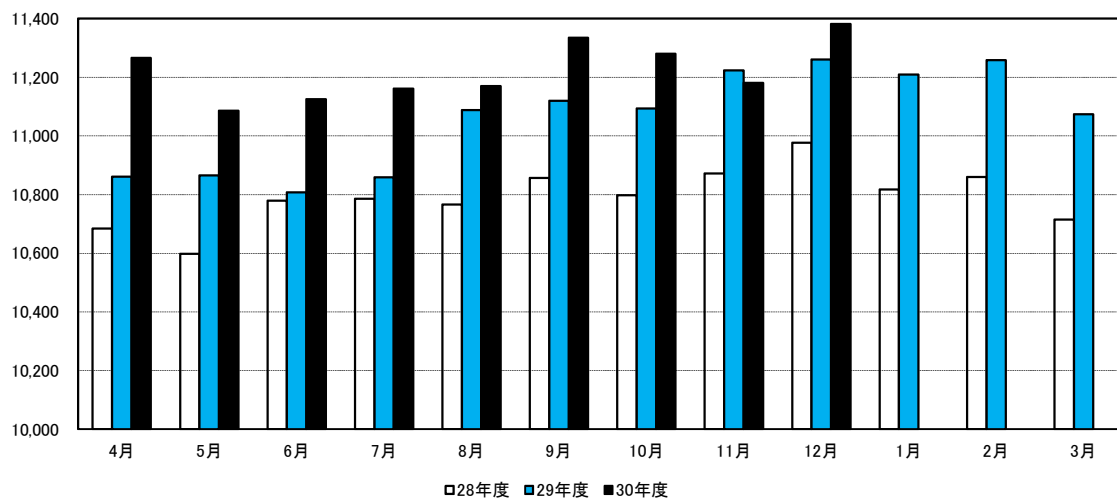


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
28年度	548	539	634	596	688	639	608	555	498	525	536	546	576
29年度	539	572	613	623	657	590	585	549	506	526	511	547	568
30年度	567	654	623	677	733	698	691	590	530				640
前月比(%)	+3.66	+15.34	△4.74	+8.67	+8.27	△4.77	△1.00	△14.62	△10.17				—
前年同月比(%)	+5.19	+14.34	+1.63	+8.67	+11.57	+18.31	+18.12	+7.47	+4.74				—

出典:厚生労働省兵庫労働局『月報ひょうご』

3 金融

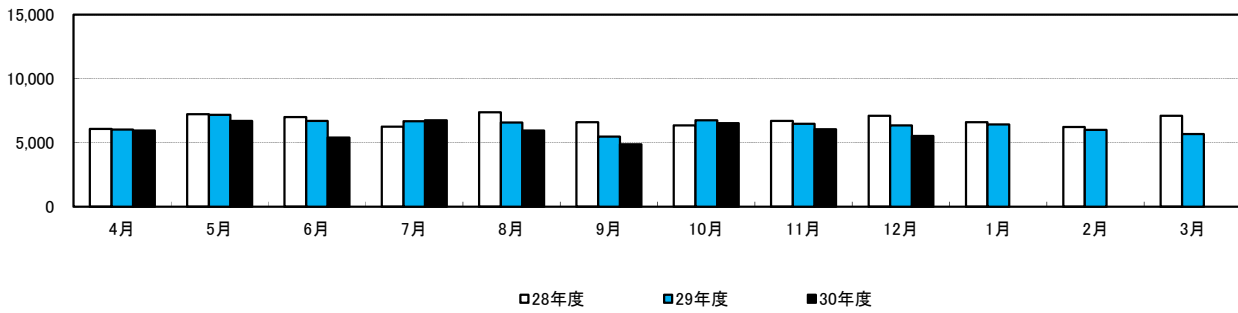
普通貸付残高(百万円)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
28年度	10,684	10,598	10,779	10,785	10,766	10,856	10,797	10,872	10,976	10,817	10,860	10,714	10,792
29年度	10,861	10,865	10,807	10,859	11,088	11,119	11,093	11,223	11,260	11,209	11,258	11,074	11,060
30年度	11,266	11,086	11,125	11,161	11,170	11,335	11,280	11,181	11,381				11,221
前月比 (%)	+1.73	△1.60	+0.35	+0.32	+0.08	+1.48	△0.49	△0.88	+1.79				—
前年同月比 (%)	+3.73	+2.03	+2.94	+2.78	+0.74	+1.94	+1.69	△0.37	+1.07				—

日本政策金融公庫豊岡支店 集計

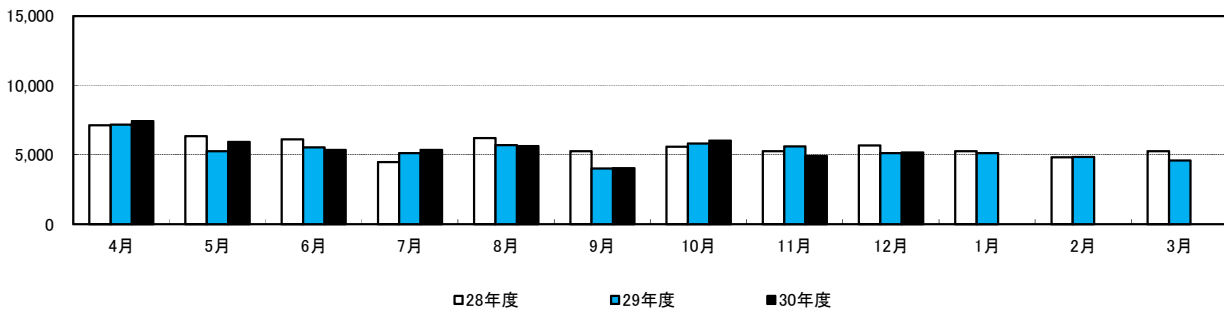
手形交換枚数(枚)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
28年度	6,084	7,241	7,008	6,263	7,367	6,603	6,351	6,711	7,105	6,603	6,235	7,098	6,722
29年度	6,018	7,178	6,699	6,674	6,591	5,484	6,746	6,490	6,362	6,429	6,009	5,688	6,364
30年度	5,943	6,715	5,405	6,763	5,957	4,868	6,534	6,058	5,540				5,976
前月比(%)	+4.48	+12.99	△19.51	+25.12	△11.92	△18.28	+34.22	△7.28	△8.55				—
前年同月比(%)	△1.25	△6.45	△19.32	+1.33	△9.62	△11.23	△3.14	△6.66	△12.92				—

株式会社三井住友銀行豊岡支店 集計

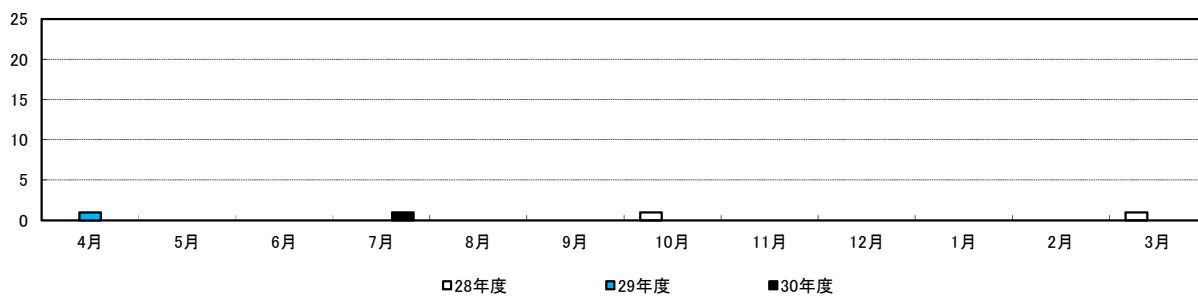
手形交換金額(百万円)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
28年度	7,136	6,339	6,109	4,484	6,210	5,256	5,577	5,256	5,678	5,256	4,836	5,256	5,616
29年度	7,184	5,256	5,546	5,136	5,693	4,012	5,813	5,617	5,134	5,124	4,841	4,585	5,328
30年度	7,424	5,938	5,351	5,349	5,644	4,034	6,021	4,919	5,164				5,538
前月比(%)	+61.92	△20.02	△9.89	△0.04	+5.52	△28.53	+49.26	△18.3	+4.98				—
前年同月比(%)	+3.34	+12.98	△3.52	+4.15	△0.86	+0.55	+3.58	△12.43	+0.58				—

株式会社三井住友銀行豊岡支店 集計

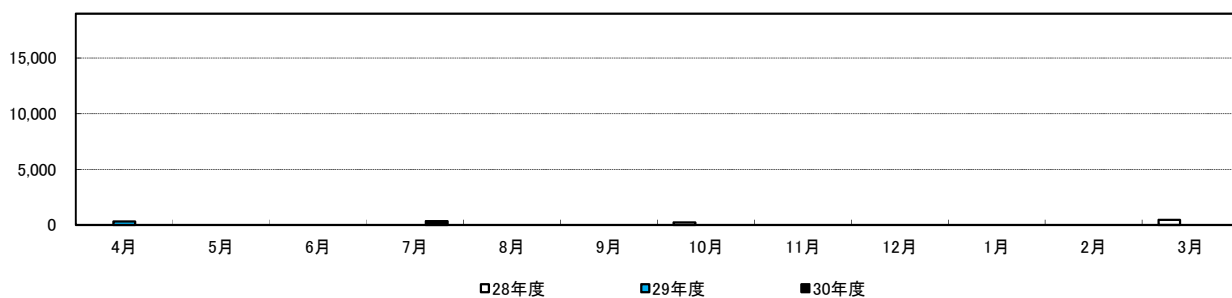
不渡手形枚数(枚)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
28年度	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2
29年度	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
30年度	0	0	0	1	0	0	0	0	0				1

株式会社三井住友銀行豊岡支店 集計

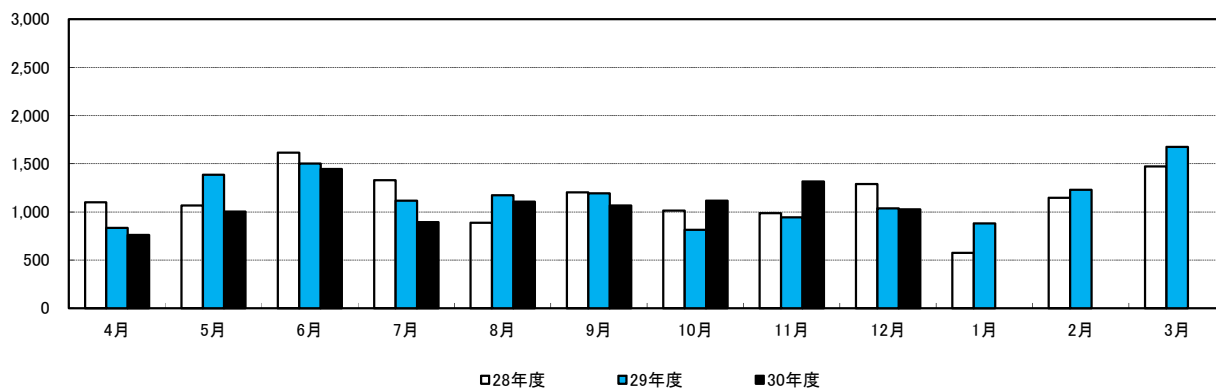
不渡交換金額(千円)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
28年度	0	0	0	0	0	0	200	0	0	0	0	438	638
29年度	286	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	286
30年度	0	0	0	330	0	0	0	0	0				330

株式会社三井住友銀行豊岡支店 集計

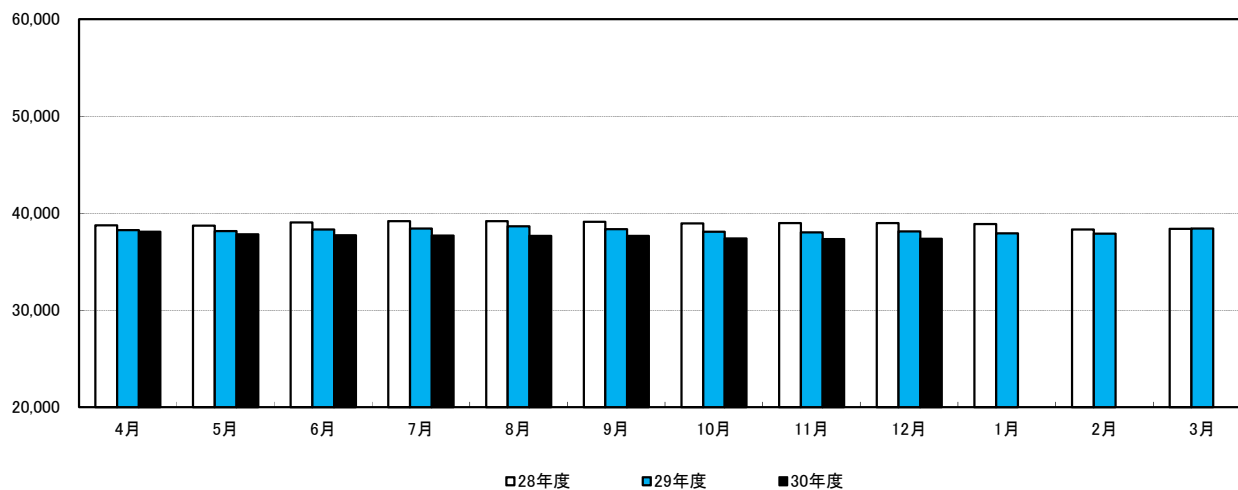
信用保証承諾額(百万円)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
28年度	1,097	1,066	1,612	1,329	885	1,202	1,012	986	1,288	575	1,146	1,472	1,139
29年度	832	1,384	1,499	1,116	1,173	1,190	814	941	1,036	880	1,227	1,673	1,147
30年度	759	1,002	1,444	891	1,106	1,065	1,115	1,313	1,025				1,080
前月比 (%)	△54.63	+32.02	+44.11	△38.3	+24.13	△3.71	+4.69	+17.76	△21.93				—
前年同月比 (%)	△8.77	△27.6	△3.67	△20.16	△5.71	△10.5	+36.98	+39.53	△1.06				—

出典:兵庫県信用保証協会『信用保証月報』

信用保証債務残高(百万円)

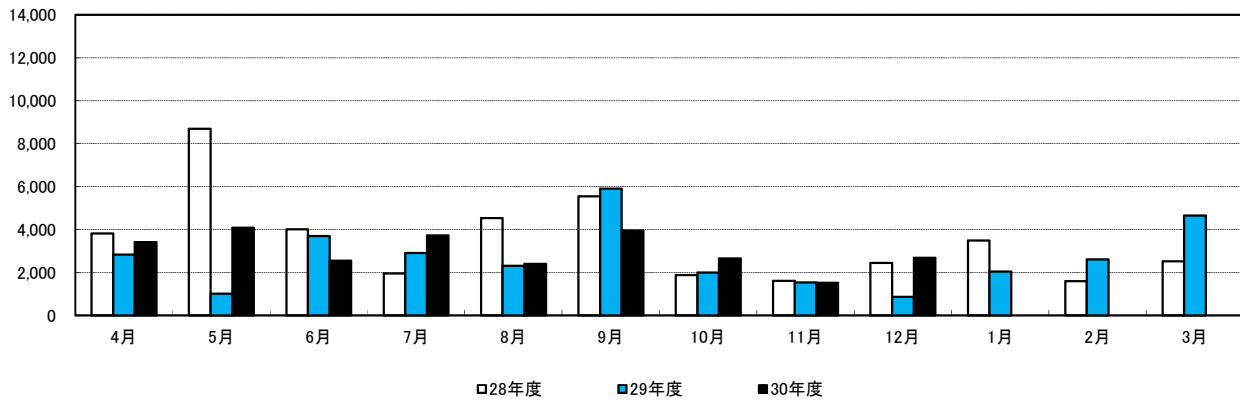


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
28年度	38,732	38,701	39,054	39,172	39,170	39,093	38,942	38,979	38,981	38,860	38,313	38,390	38,866
29年度	38,263	38,156	38,300	38,415	38,653	38,340	38,076	38,009	38,119	37,925	37,878	38,426	38,213
30年度	38,089	37,808	37,731	37,684	37,645	37,639	37,402	37,326	37,373				37,633
前月比 (%)	△0.88	△0.74	△0.2	△0.12	△0.1	△0.02	△0.63	△0.2	+0.13				—
前年同月比 (%)	△0.45	△0.91	△1.49	△1.9	△2.61	△1.83	△1.77	△1.8	△1.96				—

出典:兵庫県信用保証協会『信用保証月報』

4 公共工事

公共工事請負金額(百万円)

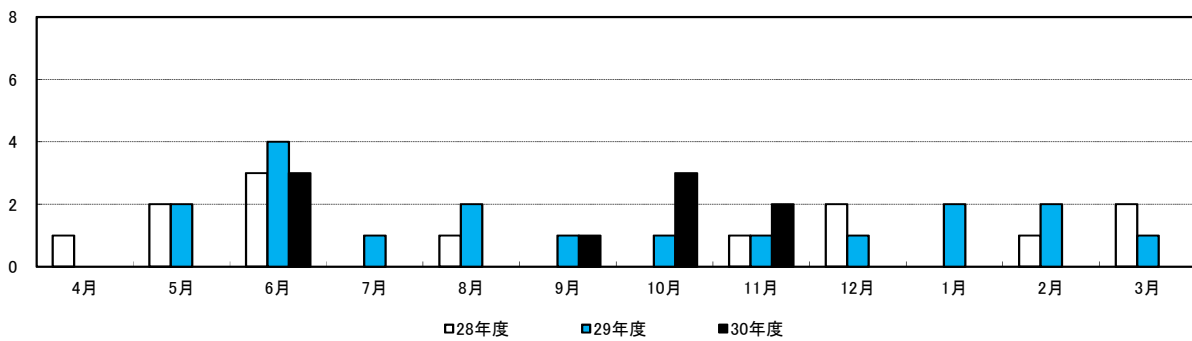


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
28年度	3,821	8,696	4,014	1,953	4,533	5,550	1,881	1,604	2,441	3,485	1,592	2,521	3,508
29年度	2,828	1,009	3,698	2,905	2,307	5,908	2,004	1,539	863	2,038	2,613	4,659	2,698
30年度	3,422	4,080	2,548	3,729	2,397	3,955	2,657	1,516	2,679				2,998
前月比(%)	△ 26.55	19.23	△ 37.55	46.35	△ 35.72	65.00	△ 32.82	△ 42.94	76.72				—
前年同月比(%)	21.00	304.36	△ 31.10	28.36	3.90	△ 33.06	32.58	△ 1.49	210.43				—

西日本建設業保証株式会社兵庫支店 集計

5 企業倒産

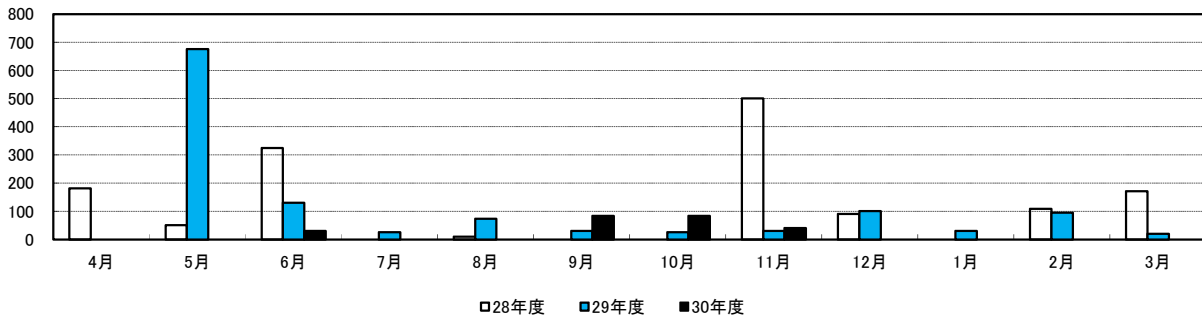
企業倒産件数(件)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
28年度	1	2	3	0	1	0	0	1	2	0	1	2	13
29年度	0	2	4	1	2	1	1	1	1	2	2	1	18
30年度	0	0	3	0	0	1	3	2	0				9

出典:株式会社東京商工リサーチ神戸支社

企業倒産負債総額(百万円)



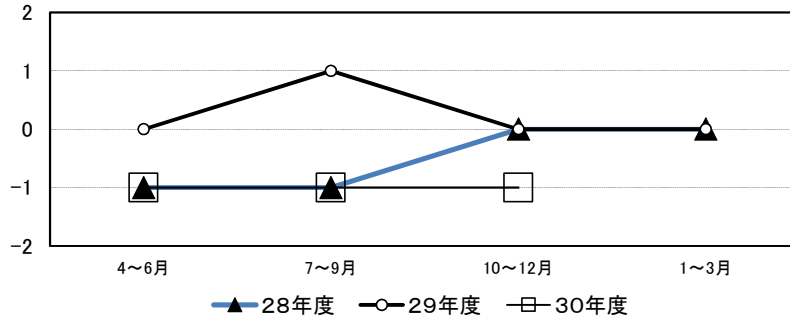
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
28年度	181	50	324	0	10	0	0	500	90	0	108	171	1,434
29年度	0	675	130	25	73	30	25	30	100	30	95	20	1,233
30年度	0	0	30	0	0	83	84	40	0				237

出典:株式会社東京商工リサーチ神戸支社

6 地場産業(豊岡かばん)

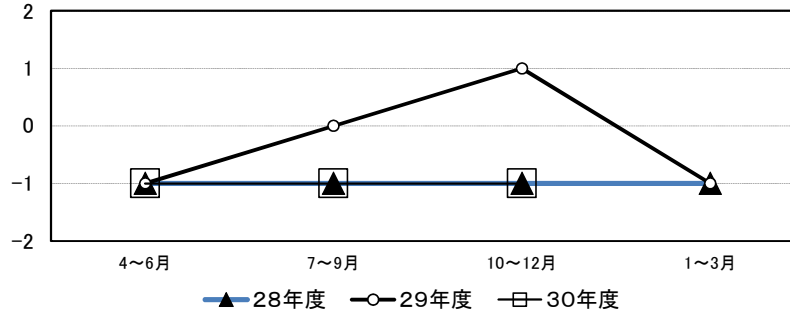
豊岡かばん 売上高 (前期比)

- 2: 多い
- 1: やや多い
- 0: 変わらない
- 1: やや少ない
- 2: 少ない



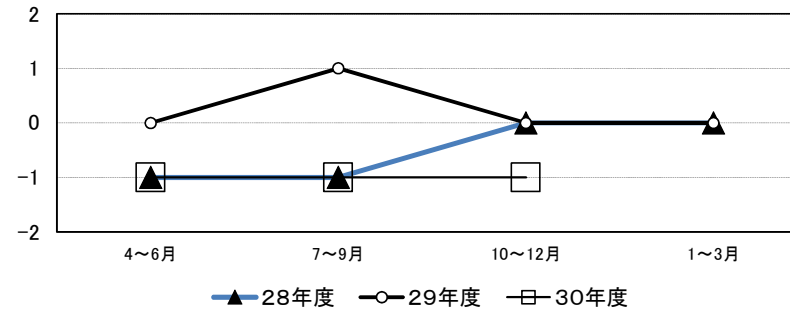
豊岡かばん 売上高 (前年同期比)

- 2: 多い
- 1: やや多い
- 0: 変わらない
- 1: やや少ない
- 2: 少ない



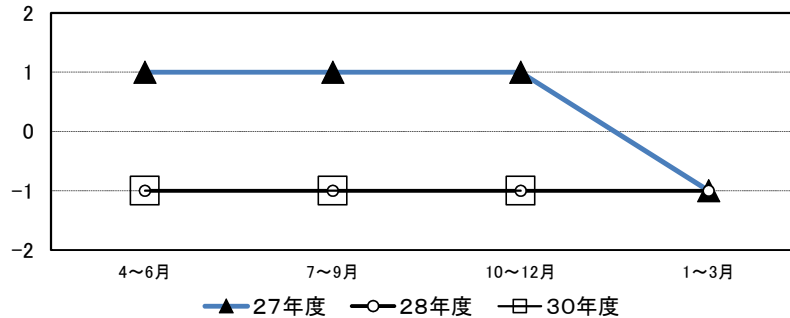
豊岡かばん 生産量 (前期比)

- 2: 多い
- 1: やや多い
- 0: 変わらない
- 1: やや少ない
- 2: 少ない

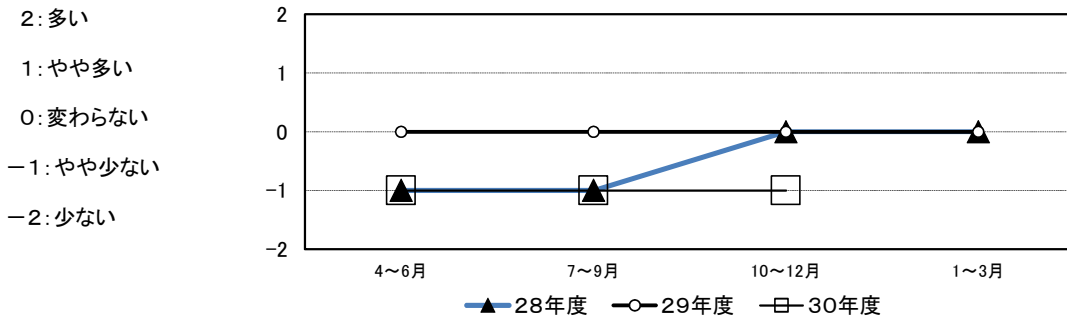


豊岡かばん 生産量 (前年同期比)

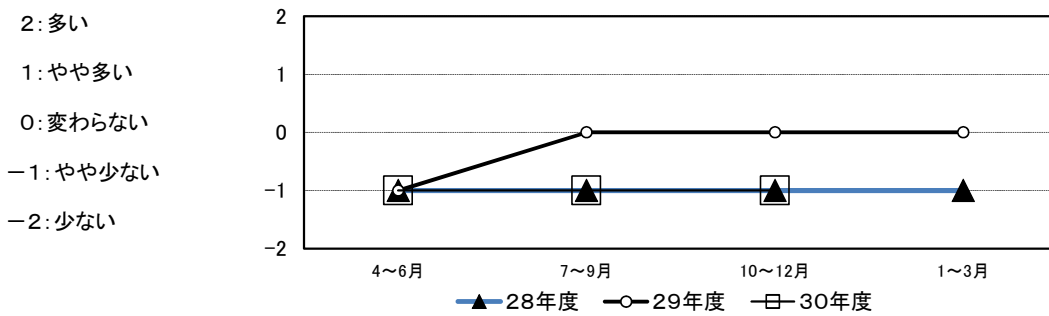
- 2: 多い
- 1: やや多い
- 0: 変わらない
- 1: やや少ない
- 2: 少ない



豊岡かばん 収益（前期比）



豊岡かばん 収益（前年同期比）



前期(平成30年7月～9月)と比べて売上高、生産量、収益ともやや少ない。

前年同期(平成29年10月～12月)との比較では、売上高、生産量、収益ともやや少ない。

・鞆業界の大きな変化はないが、個人消費の落込みにより生産量が減少している。
 送料などは同じように経費がかかり、生産量の減少が収益の減少を招いている。
 地域ブランドである「豊岡鞆」においても、昨年度同時期に比べ百貨店などでの売上げは減少しており、個人消費量が落ち込んでいる。
 東京駅周辺のKITTE丸の内に鞆工業組合の有志による直営店を9月にオープンし、9月～11月は厳しい経営状況であったが、12月はクリスマスなどで売上げも伸ばすことができた。

豊岡鞆協会 回答

7 主要業種の概況

鞆卸売業	県内鞆卸売会社によると、景況感はさほど良くないとのことである。9月の台風の影響で、関西圏の百貨店等が休業したことが要因である。また、円安の影響で海外製品や石油材料、発送費の高騰も要因である。設備投資については、昨年省力化に対する投資が行われたため、今年は大きな動きはない。雇用については、適正ではあるが、労働市場が売り手市場であり時間給の高騰で厳しい状況である。今後は、業界全体で協力しながら、ブランド化に力を入れていき、流通業者としてメーカーと連携をとっていくとのことである。
宿泊業	県内温泉旅館によると、景況感は悪いとのことである。悪天候(台風、豪雨など)や災害(地震など)が多発したことが影響で昨年と比べ20%ほど宿泊者が減少したが、9月になって持ち直しつつあるとのことである。雇用については、不足しており特に若年層を求めている状況である。外国人の受け入れも実施しているが期間が短く裏方業務中心になってしまう。今後は、県内から来訪してもらうだけでなく、近隣の都道府県とも連携し、各地から来ていただける温泉街として地域を盛り上げていくとのことである。

「兵庫県の経済・雇用情勢(平成30年10月)」より

食品製造業	県内の食料メーカーによると、景況感は良くも悪くもないが、今後は良くなる見通しとのことである。ただし、原油が高騰しているため、原材料価格が上がり業況等にマイナスの影響を与えないか不安である。現在の雇用人員は適正である。今後は、社員のモチベーションを高めながら、農業分野への進出など新たな挑戦にも取り組んでいきたい。あわせて、ホームページやパッケージデザイン作成といったクリエイティブな部門の人材を確保し、会社のプロモーション展開を強化したいとのことである。
娯楽・宿泊業	県内のレジャー会社によると、景況感は悪いとのことである。週末に悪天候(台風、豪雨など)が続いたことで観光客が減少し売上が大きく減少した。冬場は一番観光客が多いシーズンだが、カニの価格が高騰しており、今後も景況感はさほど良くならない見通しとのことである。雇用人員は不足している。特に宿泊部門で顕著であり、現在はインターンシップとして留学生を受け入れている。今後は引き続き留学生を受け入れるとともに、現在の国の動向を見据えつつ、外国人の働く環境を整え、外国人労働者の受け入れにつなげていきたいとのことである。

「兵庫県の経済・雇用情勢(平成30年11月)」より

繊維製品製造業	県内繊維製品メーカーによると、景況感は良くも悪くもない状況である。競合他社の影響で、売上高の伸びは鈍化している。また、円安の影響で原材料輸入コストが上昇し、製造原価は上昇している。雇用人員に関しては、海外工場からの実習生の受け入れが進んでおり現状適正であるが、地場に根付く産業とするために、今後は地元の人に働いて欲しいと考えている。高卒の採用活動を継続していきながら、地元人材を確保し、自社の情報発信にも力をいれていくとのことである。
宿泊業	県内温泉旅館によると、景況感は良い状況である。人件費の上昇や設備投資コスト増により宿泊単価を上げている。そうした状況でも、11月は、天候が良く一定の客数は確保できたため、売上高は増加した。12月に入ると、11月に比べ一気にカニの価格が高くなったため、利益率は減少している。雇用人員に関しては、観光客の増えるカニシーズンに入り、不足している。そのため、社員が休みを取れない状況である。対策として、休館日もしくは定員の半分受入日を設定する旅館もあるとのことである。

「兵庫県の経済・雇用情勢(平成30年12月)」より